

SFC-IV

慶應藤沢

イノベーションビレッジ通信

慶應藤沢イノベーションビレッジ(SFC-IV)は、中小企業基盤整備機構が大学および地域と連携して運営する起業家育成施設です。起業家や新事業に取り組む事業者の立ち上げ期を総合的に支援します。

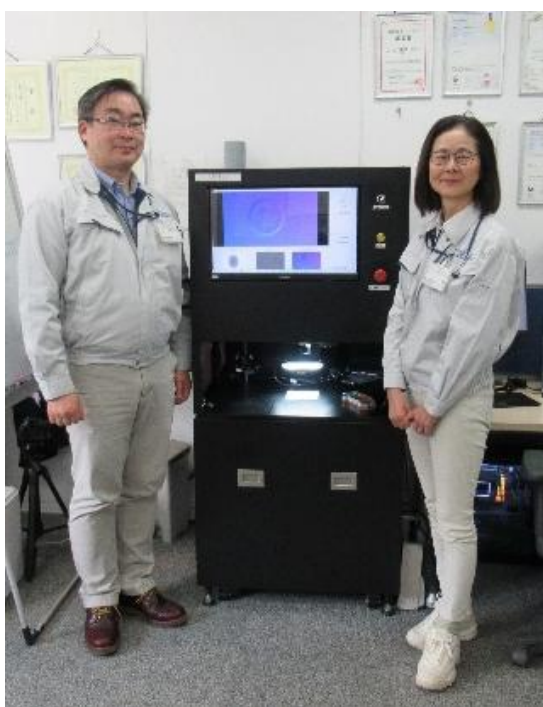
【注目企業インタビューシリーズ】

《第2回》株式会社 TOMOMI RESEARCH
ー『見たい』が『見える』五感をAIに代えるー

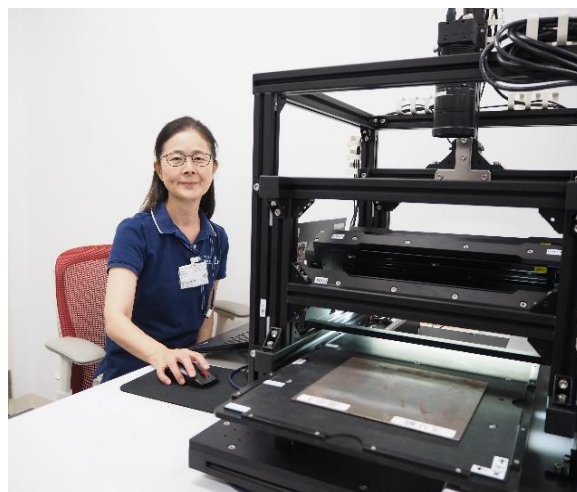
代表取締役CEO佐藤友美氏 取締役CTO崔成熏氏



代表取締役CEO佐藤友美氏



TR-100 Standard



TR-300

【新規入居者紹介】nicomobi株式会社 216号室 2025年2月入居



Keio Fujisawa Innovation Village SFC-IV



SFC-IV:Facebook

注目企業インタビューシリーズ

《第2回》株式会社 TOMOMI RESEARCH 【217号室】

代表取締役CEO佐藤友美氏 取締役CTO崔成熏氏

『見たい』が『見える』・五感をAIに代える“をテーマに、独自照明技術とAI技術を武器に金属製品や光沢品など見えにくいキズを検知する外観検査システムの開発・提供を行う（株）TOMOMI RESEARCH。

現場が抱える課題解決を目指す佐藤代表と崔（チェ）取締役は同じ企業のご出身で経営者でもあり、パートナーでもあります。そんなお二人にお話を伺いました。

（2025年1月21日取材）

（佐藤代表と崔取締役）



【代表者様について】

—ご経歴や、ご自身が専門とされている領域について教えてください。

佐藤代表） 半導体

日立で半導体デバイス製造に使われる「シリコンウェーハ」の研究開発に携わり、後にMEMS（＝微小電子機械システム）の研究開発のパイオニアとして新規事業に従事していました。

その後2011年に技術コンサルティング業務を主とする（株）TOMOMI RESEARCHを1人で立ち上げました。

崔氏） AI

日立の研究部門にて、歩留や生産管理のためのAI・機械学習の研究に従事しAI技術の実用化に取り組んできました。

2010年代よりAIの波が加速する中で、独自の多変量解析やアルゴリズム開発を深め、現在はCTOとして技術戦略を担っています。

それぞれの強みを持ち寄って、何か事業ができないかということで、2020年からCTOとして（株）TOMOMI RESEARCHの技術戦略全般を担い、ともに会社を経営しています。

—ご自分の特徴を三つ挙げるとすれば、どのようなものでしょうか。

佐藤代表） リーダーシップ・先見性・長期的な視野

崔氏） 数学・ソフトウェア＋ハードウェア両方できる・解決策の汲み上げ力

【会社様について】

—社名の由来は何ですか。

崔氏） CRAY RESEARCHというスパコン製造会社へのオマージュで、研究開発企業であることと、社長への想いをかけて決めました。

—会社設立の経緯や目的をお聞かせください。

佐藤代表） 2011年に設立しましたが、今の事業内容となったのは2020年ごろです。事業内容が大きく変わりましたし、SFC-IVに入居を始めたこともあり、私たちは「第二創業」と呼んでいます。

転機になったのは「燕三条ものづくりメッセ2018」に出展した際の、地元企業へのヒアリングでした。ある企業から「金属製品の外観検査は光沢があつて人の眼でしか検査できない」と聞きました。将来的な人材不足、検査に熟練を要する、見逃しではいけないという負担など、目視検査から自動化への転換は現場にとっては切実な課題でした。光沢品の外観検査の課題を培ってきたAI技術を使うことで解決できるのではないかと考えたことが、この領域に焦点を当てたきっかけであり、開発に着手しました。

—事業内容やセールスポイントを詳しく教えてください

崔氏） AI技術と独自の照明・画像処理技術を融合し、金属・樹脂など多様な製品に対応した外観検査システムを提供しています。多品種少量生産である日本の生産現場に対応するために、少ないデータ数で精度の高いAIモデルを作成できることが強みです。大きな特徴としては、“色の情報、表面の凹凸の情報、曲面の情報”を取り出すことで、見たいものが見える状態にし、良品の特徴を学習したAIモデルを作成し、相違があれば異常と反応するようにしています。



鑑定士が良い作品をたくさん見ることで、偽物が持つ違和感に気づくのと同じように、AIが微細な異常を的確に検出します。この技術があることで、属人的な判断基準や不良品判定の曖昧さといった課題解決を実現します。

（新たに導入された4軸アームロボット）

LLM（大規模言語モデル）とComputerVisionを組み合わせ、よりスマートで柔軟な制御を実現するGeneral制御システムを開発することで、さらに精密で高効率なAI外観検査の自動化が可能となります。

これにより製造業のDX（デジタルトランスフォーメーション）をさらに加速させます。

—現在のご状況や、現在感じている課題はどのようなものでしょうか。

佐藤代表 年ごとに設定した目標もしっかり達成し、技術力が評価されていると実感しています。

ただ、一方で、この事業領域が持つ特徴や、社内体制に課題を感じています。

そもそもBtoBの製品は買い物ではなく設備投資であり購入が慎重になります。スタートアップ企業ということで、独自の強みを持っていても、ネームバリューで負けてしまうことも。ブランド力がある方が「安心、という心理が働くのだと思います。

企業の投資は生産性や利益が上がるための加工や生産設備が優先で、外観検査への設備投資は優先順位が低いのが現状です。

また、マーケティング面の体制強化も今後の課題です。スタートアップ企業の共通の課題だと思います。顧客との接触回数を増やし、潜在顧客にいきなりアプローチできるか、そしてその実現のために人手をしっかりと確保できるかです。現在は「営業しないマーケティング」を推進中です。そのために、HPの充実、メディア掲載など情報発信に取り組んでいます。2024年10月3日の「神奈川新聞」や「サポカナ」2025年1月（神奈川産業振興センター発行）に掲載していただき、直後に複数の県内企業からお問い合わせをいただくことができました。メディア掲載の効果を身をもって感じましたので、今後も積極的に露出していきたいと思っています。

—今後の事業の方向性や、中長期のビジョンをお教えてください。

崔氏 外観検査にとらわれず、この技術を応用できる事業（製造業以外）も考えています。

生産過程の中で最後の工程である外観検査はできて当たり前なので、付加価値をつけるのが難しいです。この技術を付加価値として使うことができ、分かりやすく、見やすく、積極的に成果がわかる切り口を開拓したいと考えています。例えば、美容関係の装置です。将来的にはソフトウェア単体での提供も想定しています。

【SFC-IVについて】

—SFC-IVご入居のきっかけはなんですか。

佐藤代表 かながわ信用金庫で口座開設時に拠点探しを相談したところ、SFC-IVを紹介していただきました。

—どんなところに魅力を感じていますか？

崔氏 大学図書館が使える最新のコンピューター・情報関係図書を自由に活用できる点や、建物のつくり（会議室、共有エリア）です。

特にリフレッシュラウンジは気に入っていて、来客があると案内しています。

—他の入居者や藤沢エリアに向けて一言

崔氏 SFC-IVは研究開発を行うには最適な環境です。大学の施設を使うことはとても魅力的だと思います。

何か質問があれば、気軽に聞いてください！ 様々な知見や経験をもっています。ぜひ皆さんと交流したいです！



【インタビュアーの感想】



初めて触れた外観検査の世界、知らないことだらけでした。印象に残っているのは、「日本の生産現場に対応するために少ない枚数で正確なAIデータを作成する」点です。生産現場は国によって多種多様、技術力が高く多品種を製造する日本の現場を支える技術だと感じました。また、実直にご自身の技術力や会社を成長させており、だからこそ見える課題について本音でお話しくださり、企業支援を行う立場として貴重なお話を教えていただきました。

（中小企業基盤整備機構 関東本部 峰本）

イベント報告

nicomobi株式会社【216号室】 超小型EVミニカー『クロスケ』試乗体験会を開催しました 2025.3.27

晴天に恵まれ、15名の方にご参加いただきました。入居者様同士の交流も活発に行われ有意義な会となりました。

「思ったより全然パワーがある」「小回りが利いて運転しやすい」という感想から、「将来こういう風に使ってみたい」というアイデアに繋がっていました。再開催企画も進んでいますので、体験がまだの方はぜひ次回ご参加ください。



新規入居者紹介

nicomobi株式会社 216号室 2025年2月入居

- 『nicomobi株式会社』は、2022年に設立した『超小型EV技術研究組合』の事業を引き継ぐ形で2024年に設立した次世代モビリティの会社です。
主に超小型EVの企画・設計・開発を行っています。

nicomobiの企業理念

人々の笑顔がうれしい。
うれしいは私たちの原動力。

社会から愛される製品とサービスで、
これまでになかった人とモビリティ
社会の関係をつくります。



現在、第一種原動機付自転車（ミニカー）『クロスケ』を開発しています！！



履歴書

2023 年 10 月 26 日現在

ふりがな	えーとまー	くろすけ
本名	XK	クロスケ

2023 年 10 月 23 日生 (満 〇 歳) 性別 〇 男 (EMV) 3 バイブ

ふりがな	HP nocomobi.co.jp
現住所	E-mail inquiry@nocomobi.co.jp
藤沢市遠藤4489-105 SFC-IV 216号室	

年	月	略 歴
2021	8	プロジェクトスタート
2023	9	クロスケ命名 先制PVアップ
	10	はじめての試乗
		高評価をいただいた
2025	2	ふじさわにむっし

志望の動機、特長、アピールポイントなど

世界をもっと元気に明るくしたいと思うような人たちの助けが
生まれてくることかできました。一人乗りも充実した乗載、バイクと軽バンが
あいだの大きさでEVの新たな選択肢を目指します。

小さく可愛いです。あんなに可愛い車って、今までにない
みんなを笑顔にしています。

MUVのクロスケは、世界を明るくします。



【編集・発行】慶應藤沢イノベーションビレッジIM室

〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤4489-105 TEL:0466-49-3910 FAX:0466-49-3911
E-mail:sfc-iv-info@smrj.go.jp SFC-IV HP:http://www.smrj.go.jp/incubation/sfc-iv/